

ご意見	
①	基本的にはこれでもよいと思います。本日、「ともに」を評価するご意見もありましたので、「パートナーシップ」を分かりやすい表現にしてもいいかもしれません。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・案3は廃棄物政策というよりも環境政策全般に関する事で、やや抽象的すぎる感じがいたします。 ・案4は花田会長が仰っていたように、古い感じ（数十年前から言われていることですね）がします。 ・以上の事から、案1をやらわかくかみ砕いた案2をベースにブラッシュアップする、に一票です。
②	<p>(案3) 「人と資源を生かし、豊かなまちを未来へつなぐ」が良いですが、「人と資源を生かし、豊かなまちを未来へつなぐまち 川西」と市名があった方がより市民の方への心がけを促せるのではないかと感じます。</p> <p>(案2) は、学び、取り組む対象が明確になれば良いと思います。</p> <p>(案4) は、プラ新法にそって、プラスチック 3 R +Renewableであれば良いですが、まだ一般的に浸透されておらず少し難しいと思いました。</p>
③	<p>「循環型のまちを目指し、ともに学び ともに取り組む」</p> <p>案1でも良いと考えるが、より市民に分かりやすくするという意味で、案1を少し柔らかくした案2が良いと考えますが、案2については審議会です少し分かりにくいとの意見もあったことから、案2を少し変更しました。</p> <p>また、基本理念の説明書きについては、市長が令和4年に二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明されている為、記載の有無について検討が必要かもしれません。</p>
③	<p>案2の変形バージョンとして「ともに意識し ともに取り組む 循環型のまち 川西」</p> <p>※意識=みなが分別の徹底を意識する みなが不当投棄はしないなどルール違反を意識する・・・など</p>
①	廃棄物の問題は、川西市だけでなく市民や事業者など、あらゆる人が意識して連携しながら取り組むことが重要であり、①はそれを最もよく表現できていると思います。
①	資源を循環させる取組みの一例として、昨年みつなかホール文化サロン内で、リユース子供服無料で（お問い合わせ 美化推進課）とありましたが、私達も何か出来る事をと考え、実行していきたいと思います。（例、フリーマーケット等）
②	<p>第2案が良いと思いますが、「ともに学び」は入れずに「ともに取り組む 循環型のまち 川西」を提案します。</p> <p>広く市民に示す方針だとききました。その時に「ともに学ぶ」というフレーズはあまり好ましくない様に思いました。市民にとってごみを出すのは生活の一部です。そこにまで「学び」を持ってこられるのは、圧を掛けられている様に感じる気がしました。次元の低い話だと思われるかもしれませんが・・・</p> <p>「ともに学び」を省くと言いましたが、学びが不必要だとは思っていません。「ともに取り組む」の中にもともに学ぶという取組みも含まれていると考えています。</p>
① ②	<p>①賛成します。まずコミュニケーションが大事です。</p> <p>②市民一人一人が最終処分して下さる立場に立って考える、賛成 市民の意識を変えるゴミ問題について、食糧についてもゴミの中から資源（農に関すること）を生かして土に返したい。</p>
③	<p>案3が良いかと思えます。少し付け加えて【人と限りある資源を生かし、豊かなまち川西を未来へつなぐ！】</p> <p>下線部を付け加えたのは「資源は無限じゃない」というのを強調したいからです。</p> <p>川西を豊かなまちにするのは「川西市民ひとりひとりだよ」ということを自覚する意味で「川西」を加えました。</p> <p>最後に！を付け加えたのは力強く宣言したいからです。</p> <p>現状の案1は「パートナーシップで進める」というところが具体的に分かりにくいなど感じていました。</p> <p>この部分は変えた方が良いでしょう。</p> <p>「循環型社会の形成」は最近よく使っているSDGsで理解が進んでいるので問題ないと思います。</p>